

患者スピーカー・アンケート（26名）

各項目を読み、当てはまるものに✓を付けて下さい

1. あなたの職種は？

教育職 (4) 看護師 (10) メディカルスタッフ (11) 事務 (1) その他 (0)

2. 日常の業務中に患者さんやその家族と業務を遂行する上で、意思・意見の不一致を感じることはありますか？

ある (17) ない (4) 日常、患者さんやその家族と接点がない (5)

3. 院内で取り組んでいる患者さんとその家族を含めたイベント・セミナー・サロンなどに参加されていますか？

参加している (1) 参加していない (25)

5. 患者スピーカーの講演について

—a 講演者が“伝えたいこと”は伝わり（受け取れ）ましたか？

佐久間氏	<input type="checkbox"/> 伝わった (26)	<input type="checkbox"/> まあまあ伝わった (0)	<input type="checkbox"/> 余り伝わらなかった (0)	<input type="checkbox"/> 伝わらなかった (0)
佐藤氏	<input type="checkbox"/> 伝わった (26)	<input type="checkbox"/> まあまあ伝わった (0)	<input type="checkbox"/> 余り伝わらなかった (0)	<input type="checkbox"/> 伝わらなかった (0)

—b 各演者の講演内容（テーマ）についてどう思われましたか？

佐久間氏	<input type="checkbox"/> 良かった (26)	<input type="checkbox"/> まあまあ良かった (0)	<input type="checkbox"/> 余り良くなかった (0)	<input type="checkbox"/> 良くなかった (0)
佐藤氏	<input type="checkbox"/> 良かった (26)	<input type="checkbox"/> まあまあ良かった (0)	<input type="checkbox"/> 余り良くなかった (0)	<input type="checkbox"/> 良くなかった (0)

患者スピーカーの講演で印象に残ったことはありますか。ありましたらご記入ください

- お二人のたくましさ、柔軟な考え方に感動しました。
- お二人とも前向きでいらっしゃることがこちらにも勇気づけられると思いました。
- 当事者の体験（語り）は、素直に心にすっとんと落ちた。
- 心が洗われた。
- 病の軌跡は、その人の人生や生き様そのものであると感じた。
- 「後悔しない人生」と一言で言っても行動をするのはなかなか難しいですが、それを実行されている方がいること、また、兄弟への思いやりがあり、ひがむことなくいらっしゃることにびっくりとしました。
- 1つ1つのメッセージに感じるものがあつた。
- 患者さんの立場の病の受け止め方を知り、改めて医療者として、今の自分に何ができるか、考えることができました。
- 「挨拶は輪を広げる」
- 転んじゃったらどうしよう、と考えるのではなく、転ばないためにどうするか、を考えるポジティブシンキングの大切さ。今できることは何か、やらないと始まらない、何もしない内からあきらめられない。
- 患者さんに関わっている全ての人の声かけが患者さんの支援に繋がっている。

- ・前向きな発想に変える。
- ・いろいろな思いを聞くことができた。
- ・普段あまり聞けない内容だった。
- ・とても強い心を持った人たちだなと思いました。ありがとうございました。
- ・自分が病気になっても弟がならなくて良かったと思えることが本当に家族思いだと思った。
- ・自分の夫が病気になったとき、なんて声かけしようか、と考えるきっかけになった。
- ・前向きな精神で今出来ることをやると取り組まれていること。
- ・些細な会話が気分転換になることもあるということ。
- ・後悔をしない生活。
- ・人生における目標について。
- ・「他人事じゃない！」と激励してくれた人がいた、という話に周りにも助けることができるのだと思いました。
- ・どんな職種でも患者の支えに慣れるのだということがとても印象に残りました。
- ・困難な時、あえてそれに向かうのか？それとも別のルートを探すのか？難しいですが、何かヒントに今後なるような「佐久間さん」の講演でした。また、佐藤さんのお話で適切な説明とあり、今後の課題になりました。がんばります。今日はありがとうございました。
- ・他愛もない言葉（挨拶）。行動も患者にとっては心のよりどころ？勇気づけられる。
- ・病は気から。
- ・どちらも誰かの一言で、勇気づけられたり、前向きに進むことができるようになったりと、言葉の大切さ、言葉の力みたいなものを強く感じました。
- ・お二人ともとても前向きに病と向き合っている姿勢が印象的でした。
- ・佐久間氏：全ては「自分の気持ちの問題」「病は気から」前向きに生きる大切さを再認識できた。
- ・佐藤氏：「適切な服薬指導は患者を救う」⇒今後はプラスの服薬指導を心がけていきたいです。
- ・たった一言が人生を変える。
- ・患者さんはプラスな声かけに勇気づけられるんだということ。
- ・意志の強さが伝わりました。
- ・佐久間さんの「できるか、できないかではなく、やるかやらないか」という言葉は、ハンデがあるない関係なく、一度しかない人生を見直す言葉になりました。今できる事を精一杯できているか、考え直そうと思います。

□患者スピーカーに語って欲しいことがありましたらご記入ください

- ・医療者のネガティブな関わり（本日はポジティブなことが占めていたため）も知りたいです。良かれと思って良くないことに繋がっていることもあるのでは・・・？と気になります。
- ・家族とどのような話をして治療に臨んだのか。
- ・医療者に望むことは何か？
- ・医療者の言葉や態度など、実際に良かったことだけでなく、嫌だったことも聞いてみたい。
- ・世間に正直言いたかったこと、ざっくばらんな話。
- ・良い医療従事者と悪い医療従事者について。
- ・今後、何をしたいこうと考えていくのか？という事。
- ・何でもいいと思います。いろいろお話して、いろいろな方に広めて下さい。
- ・傷ついた一言、また、態度も聞いてみたいと感じました。
- ・患者の家族の話も聞いてみたい。
- ・負の部分。嫌だった事、ムカついた事など・・・。
- ・薬剤師という職種についてどう思っているか。
- ・薬剤師にどのような関わりをして欲しいと思っているか。
- ・レントゲンなどの検査時に医療者に望むこと。
- ・今日の内容で十分伝わると思います。
- ・医療職員がどうあるべきか、まだまだ、至らない点ばかりだと思いますので、厳しいご意見でも

考えるきっかけを頂ければと思います。

6. ワールドカフェについて

ーa ワールドカフェはいかがでしたか

大変良かった まあまあ良かった 余り良くなかった 良くなかった
(19) (7) (0) (0)

ーb 各テーブルに患者スピーカーが同席することについて評価して下さい

大変良いと思う 居ないよりは良いと思う 余り良くない 居ない方が良い
(26) (0) (0) (0)

ーc 患者スピーカーから患者の立場で思っていること、感じていることを聞けましたか？

聞けた 聞けなかった
(25) (1)

□「聞けた」方は、聞けた内容について、できるだけ簡便に幾らかあげて下さい

- ・看護師の対応、頑張りという言葉、頑張りうね、頑張っているね、の言葉の違い。
- ・患者の立場から見る医療者の役割や普段の心情など。
- ・看護師からの声かけ、内容、励まし。
- ・患者としての退院目標。
- ・「がんばって」が嫌だったなど、患者側に感じた医療者の言葉。
- ・実際の体験の中での心理的变化、「自信」を持つことの大切さ、どのようなことが治療や心的サポートになったのか。
- ・朝、転んでしまったら、転ばないようにする。
- ・聞くことはできたが、体験談が強すぎて、自分の意見が浅いと言われている気分になったときもあった。(熱心さは伝わりました)
- ・褒められると嬉しい。
- ・今、頑張っていることなど見ていてくれると感じること。
- ・後悔しない生き方をするという事。
- ・いろいろな人に助けられた。職種に関わらず。
- ・家族への思い。
- ・患者さんの気持ち。
- ・これを聞いて良いのか、悩むくらいなら声を掛けて聞いて欲しい。
- ・ダメよりアドバイスが欲しい。
- ・輪・人との関わりは大事。
- ・あきらめていない患者がいることを忘れないで。
- ・経験からの意見、(ソーシャルな情報が少ない、治療が変わったのに説明がない等々)とその時々
の気持ちを聞く事ができました。
- ・ショックの中で何が希望になるかは分からない。
- ・前向きさって最強。
- ・患者家族の方からの話：患者家族の方も医療従事者にかなり気を使っていることが分かった。家
族の方は、医療知識がすごくあるわけではないので、「この情報は、今は、必要ない」といった
ことも家族は伝えて欲しいがっている。
- ・患者さんにとって「がんばれ」が負担になることもある。
- ・患者さんが病院の雰囲気話し易さが違うこと。
- ・病状についてや家族に対しての説明など。

7. 研修全体での有意義度を評価して下さい(1名未記入)

大変有意義 それなりに有意義
(21) (4)

余り有意義ではなかった
(0)

全く有意義ではなかった
(0)

8. 今回の研修目標到達に関わる 4 項目について、現時点での到達できる自信度を表して下さい
研修目標「患者を知り、今の職務の可能性に気づき、業務へのモチベーションを高める」

ー1 患者の医療者に対する気持ちのあり方を知り、関わり方を見直すこと (1 名未記入)

自信がある (8) 少し自信がある (15) 余り自信がない (2) 自信がない (0)

ー2 患者との対話を通して、医療者への真のニーズに気づくこと

自信がある (5) 少し自信がある (18) 余り自信がない (3) 自信がない (0)

ー3 患者と共に内省 (リフレクション) することで、自分の職務を新たな視点から省みること

自信がある (9) 少し自信がある (15) 余り自信がない (2) 自信がない (0)

ー4 明日から患者に対する態度・言葉等が変わり、患者から慕われる医療者になること

自信がある (7) 少し自信がある (15) 余り自信がない (4) 自信がない (0)

9. 研修全体を通しての感想や“気づき”のあった方は“気づき”の内容を書いて下さい

- 職種は違っても、患者さんとより良いコミュニケーションを取りたいと思っていることは共通していることが分かった。
- 継続、より多くの方の参加を希望します。
- 患者さんとの関係づくりは、看護師として不可欠で、一番近い存在として思いを傾聴していく必要があるなと思いました。ありがとうございました！
- 医療はチームだと改めて思いました。
- KSB の方々は、本当に「心が強い」方々だと思いました。貴重なお話し、ありがとうございました。
- 実際の患者さんの体験から改めて患者さん・家族とのコミュニケーションをとることの大切さを知った。そして、患者さんは強い人だなと思いました。ありがとうございました。
- 今、一番辛いことなどダイレクトに聞いていっても良い。聞いてくれるからこそ言えることもあることなど。
- 患者さんの立場や他の職種が考えている思い。
- 自分の意識一つでできる事があるという事。
- このようなことはなかなか普段はないことなので、とても勉強になりました。明日から実行します。
- ありがとうございました。
- 常に前向きでいることの大切さを教えていただきました。服薬指導も伝え方一つで、患者さんのモチベーションを上げることができることを教えていただきました。
- 何気ない言葉や挨拶が患者さんを救う。
- 今までできていた様で実際には至らない点があると気づきました。実際に患者さんの感じている事を聞く機会はあまりないので、見つめ直す良い機会になりました。
- 貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。